

第4回本庄市交通政策協議会 議事録要旨

日 時 平成24年11月12日(月)午後2時～4時

場 所 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターN406

出 席

区 分	職 名	氏 名
1号委員	本庄市副市長	酒井 了
2号委員	朝日自動車(株) 専務取締役	石倉 実希雄(代理出席)
	社団法人埼玉県バス協会 専務理事	鶴岡 洋
3号委員	本庄観光(株) 代表取締役	山田 三二
	武蔵観光(株) 常務取締役	齋藤 勝
4号委員	埼玉県タクシー協会 専務理事	藤田 貢(代理出席)
5号委員	朝日自動車労働組合 書記長	橋井 公治
6号委員	本庄市自治会連合会 理事	齋藤 康雄
	本庄商工会議所 事務局長	川上 芳男
	本庄市身体障害者福祉会 会長	種村 朋文
7号委員	本庄警察署交通課 課長	橋本 彰二
9号委員	埼玉県企画財政部交通政策課 主幹	山田 貴志
10号委員	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局 首席運輸企画専門官	高山 和征(代理出席)
11号委員	国土交通省関東地方整備局建設部 都市整備課 課長	高橋 勉(代理出席)
12号委員	国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所 所長	中根 栄司(代理出席)
	埼玉県本庄県土整備事務所 道路部 部長	辺見 元己
13号委員	早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科教授	浅野 光行
	本庄市議会 総務常任委員長	広瀬 伸一
(オブザーバー)	埼玉県都市整備部都市計画課 主幹	澁谷 泰彦

(欠席者)

2号委員	国際十王交通(株) 総務部 部長	桑原 英司
4号委員	本庄タクシー協議会 会長	神宮 つぐよ
6号委員	本庄市老人クラブ連合会 会長	亀田 本二
6号委員	児玉商工会 会長	江原 貞治
8号委員	児玉警察署交通課 課長	山口 典夫
(オブザーバー)	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局運輸企画専門官	小山 晋平

会議次第

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 事
 - (1) 市内公共交通網見直しについて
4. その他
5. 閉 会

発言者	発言内容・決定事項
事務局	1. 開会 < 本庄市交通政策協議会設置要綱第6条第2項に基づき、本会議が成立していることについて報告 >
酒井会長	2. 会長挨拶 年度末までに、公共交通、自家用車、自転車等を含めた総合交通計画を策定する。その中で喫緊の見直しが必要である公共交通の分野、具体的には交通弱者を対象にした交通、本庄早稲田駅の市街化に伴う来街者の増加への対策等を含めた公共交通のあり方について、前回の協議会で大枠の方向性を示した。 今回の協議会では、アンケート結果の詳細な分析等により導かれた結果として、より具体的に説明するので、忌憚のないご意見をいただきたい。
受託事業者	3. 議事 (1) 市内公共交通網見直しについて < (1) の説明 >
会長	資料について質問や意見などがあればお願いしたい。
委員	今回は、協議会として決定するものはないのか。
会長	今回は、協議会で検討を進めていただくために、公共交通のあり方につ

委員	<p>いて前回よりも具体的に示した。今日決定するものではない。</p> <p>デマンド交通は1人あたりのコストがかかる。他都市でもデマンド交通を実施しているわけだが、デマンド交通ありきで話が進んでしまうとアンケート結果と乖離した計画内容になる心配がある。</p>
会長	<p>前は、アンケートの結果から方向性を示した。今回は、アンケートの詳細な分析により具体的な見直しの案を示した。</p>
受託事業者	<p>現行の市内循環バスは利用者が少ない。この少ない中でも、利用者の多いバス停とほとんど利用されないバス停がある。利用者を増やすには、利用者の多いバス停だけを定時定路線でまわるのがベストな選択だと思う。</p> <p>しかしながら、利用者が少ないバス停を無くしてしまうというやり方をすれば、交通の空白地帯ができてしまう。利用者が少ないからという理由では、バス停を減らせない。</p> <p>利用者の多い、少ないに係わらず幅広いエリアをカバーし、サービスを向上させるのは、定時定路線は難しいが、利用者の要望により車両を動かすデマンド交通であれば、利用者の少ないところでも公共交通サービスを行き渡らせることができるため、今回、市内全域のデマンド交通の導入を提案した。</p> <p>指摘のとおり、デマンド交通は費用がかかる。事業者に運行を委託する費用のほか、利用者からの電話の受け付けを行うオペレーターの費用、利用に応じて最適な配車を行うためのシステムの費用等がかかるが、循環バスの車両を増やすよりも費用は安い。</p>
委員	<p>5～10分程度かけてバス停まで歩いて貰うというのは、許容範囲ではないかと思う。児玉地域の沢の奥までサービスする必要があるのかなど、議論が必要であると思う。</p>
委員	<p>アンケート調査で、現行の循環バスが利用し難いため利用しないという潜在的な需要があった。市内循環バスの利用が少ないところは、デマンドに変えるということもあり得るが、単純に利用が無いからバス停を無くすのではなく、地域の需要を理解する必要がある。</p>
会長	<p>バス停を廃止するという計画ではない。デマンドについて、もう少し詳しく説明する。</p>

受託事業者	<p>現行の循環バスを利用しない理由として、運行本数の少なさや、ダイヤの問題がある。一方で、バスで行きたい場所として駅や商業施設等が挙げられており、今の循環バスが必ずしも適切なサービスをしていないために利用が少なく、適切なサービスができれば潜在的な需要が顕在化してくるものと考えられる。</p> <p>現行の定時定路線で市域を大きく回っている路線では、1周の時間がかかり、現行の車両台数では十分な運行ができないため、仮に今の車両台数のままとした場合、サービスエリアを縮小したコンパクトな運行が必要になるが、行政サービスとして行っているため、利用は少なくとも今のサービスエリアを縮小するという事は難しい面がある。</p> <p>そこで、デマンド運行の場合、乗る人がいればサービスを行うことになり、呼ばれたときに行くというサービスに置き換わる。そのため、需要がないところを廃止するというイメージではなく、概ね今までサービスをしていたエリアは変えず、必要な時にサービスを行うという考え方であり、誰も待っていないバス停であっても周っている循環バスの無駄な運行部分を省ける。</p>
会長	<p>利用が少ないバス停を廃止するという計画ではなく、そういったバス停に定時でサービスすることを止め、需要があるときにだけサービスを行うという内容である。</p>
委員	<p>デマンドの場合、バス停のような機能を持った場所が増える可能性もあるのか。</p>
受託事業者	<p>アンケートにより、大きくぐるっと回っているために時間がかかりすぎて、なかなか使えないというのが明らかになった。そこで、どうしたらよいかというと、呼ばれた場所に呼ばれた時だけ行く方が合理的、かつ時間的にも短くなり、ニーズにも合っている。</p> <p>循環バスは、路線が定まっているので、サービスエリア内であってもバス停が近くになく、結果として循環バスを使えないところもあるが、デマンド運行は、区域を定めるだけであるので、新たに乗降ポイントを増やすこともできる。</p>
委員	<p>循環バスを使いたくても使えない潜在的な需要があるエリアにおいて、デマンドの乗降ポイントができず、不便が解消されないという意見が出てしまうことを心配している。</p>

<p>会長</p>	<p>費用対効果として、今までの経費にデマンドの費用をさらに追加するのであれば、循環バスを増やした方がよいのではないかと。</p> <p>デマンドの乗降ポイントについては、それぞれの地域でどこに置いた方がよいかは今後の検討になるが、今よりも不便になるということが無いよう計画していきたい。</p>
<p>受託事業者</p>	<p>概略の試算として、現在の循環バスが1台あたりだいたい年間600万円かかっているため、車両を1台増やす毎に600万円かかる。この費用は運行の委託料で、主に人件費が占めるため、車両が小さくても大きくても、そんなに大きくは変化しない。</p> <p>現行では、いずみ号と市内循環バスを合わせて4台で運行している。市内を4地域に分け、現行と同じ車両数の4台で各地域とも1台による運行を行うということで試算すると、デマンドのシステム導入費用が50万円程度、月々のシステム使用料が10～20万円程度のため、年間では120～200万円になり、この費用で市域全体をカバーできる。デマンドになれば、今よりも費用はかかってしまうが、車両を1台増やすよりも費用を抑えることができる。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどから交通弱者の話がだいぶ出ているが、交通弱者といっても、本庄地域の弱者と児玉地域の弱者とは違うと思う。本泉に居住している高齢夫婦において、今は旦那さんの運転があるから買い物や病院に行けるが、仮に一人になった場合に車を運転できなく、どこにも行けなくなるという話を聞いている。</p> <p>この協議会において、不便な地域の住民や自治会長を呼んで、話を聴かせてもらうというのも一つの方法だと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>この協議会自体のスケジュールから申し上げると年度内の計画策定を予定しているため、協議会を開ける回数に限りがあることから、検討させてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>デマンドは案としては面白いと思うが、費用がかかるため、お金をかけずにできることを考えることも大切である。タクシー事業者の方に山間地域に限らずサービスを委託することも考えられるのではないかと。</p>
<p>受託事業者</p>	<p>バスで運行するよりもタクシー事業者がワゴン車もしくはセダン型車</p>

<p>委員</p>	<p>両で運行し、車両を小型化することで比較的安価に運行している事例がある。大きな車両を使うだけでなく、需要に応じて小型の車両に置き換えていくということも一つの案だと考えている。デマンドをやるとともに車両を小型化し、できる限り経費を圧縮できるよう検討して行きたい。</p> <p>ただし、タクシー車両でやるかどうかはこれから検討していきたい。</p> <p>現行の循環バスの見直しが必要と考えた経緯を教えてほしい。</p>
<p>受託事業者</p>	<p>現行の市内循環バスは1日4便、無料で運行している。サービス改善に向けては、運行本数を増やす、または運行ルートを変えるなど、いくつか改善する方法はあると思う。しかし、このバスは10年以上の歴史があり、何度も見直しを行いながら、現在に至っている。</p> <p>このため、今の車両規模による運行では、現状以上にサービスを改善することは難しいと判断している。サービスを改善するには、車両台数を増やすことが必要であり、費用の負担も増える。よって、現行のままで、改善していくのは極めて難しいだろうと判断している。</p>
<p>委員</p>	<p>これまでの協議会で今のような説明がなく、突然デマンドの話が出てきた感じがする。検討した結果や補足資料など、経緯がわかるものを提出してほしい。</p>
<p>受託事業者</p>	<p>了解した。</p>
<p>会長</p>	<p>総合交通計画として最後にきちんとまとめていく。今は、その一部だけを提示しているので、分かり難い部分があるかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>12ページ目にある図について、タクシーだけが独立しているように見える。タクシーをマイカーやデマンド運行のあたりの位置に修正してみてもどうか。</p>
<p>受託事業者</p>	<p>タクシーはどちらかという利用者を持定できるので、路線バスよりも下側、デマンド運行の左あたりの位置に修正する。</p>
<p>委員</p>	<p>同じ図において、総合交通計画で取組む移動手段（赤の点線）の中に路線バスももう少し加えてはどうか。鉄道や路線バスも、今回の計画で総合的につなげることが重要だと思う。</p>

会長	ご指摘のとおり、公共交通機関相互の乗り換え利便性を上げて欲しいという市民の意見があるため、検討していくことが必要である。
委員	本庄地域のように市街化が進んでいる地域は循環バスであっても良いだろうと感覚的に思うが、利用者が少ないということでデマンドを採用するという理解でよいか。
受託事業者	現行の市内循環バス利用者数は、9月の調査では、1日4便運行で1便あたり3～5人程度の利用者であった。かなり広い範囲を運行しているため、目的地へ行くのに大回りするのが不便だという声も利用者から伺っている。
委員	現行の循環バスをやめてデマンドにした場合、それほど遠回りにならないということか。
受託事業者	基本的にはそう考えている。また、今まで無償で運行していたが、見直しにより何らかの形で有償運行にしたいと考えている。今までの需要がこれからも続いていくのか、また新たな利用が増えるのか、実証実験をやりながら見ていきたい。
会長	19ページの表組みに書いてあるように、25年10月から実証運行を行い、ある意味うれしい悲鳴で、乗りきれないほどの需要が出れば、定時定路線も視野に入れて考えるべきだろう。
委員	18ページの図の中にある、本庄南地域や児玉地域市街地をデマンドでやる必要があるのか。 本庄市には福祉タクシー券があるが、その枠を拡大することで対応することも可能ではないか。たとえば利用者が300円支払って、福祉券で710円くらい補助すると1,000円の範囲までは300円程度で乗れることになり、100人利用しても市が支払うのは、71,000円に加え事務経費程度の費用となる。 児玉地域の山間部ではデマンドが必要と思うが、本庄地域と児玉地域市街地では、これで十分対応できるのではないか。福祉タクシー券についても検討してみてはどうか。
事務局	福祉タクシー券は、現在、障害者の方に限り、月2枚、初乗り料金分の

	<p>券を支給している。</p>
委員	<p>福祉タクシー券の支給対象を見直して、対象者を拡大すれば、例え 100 人乗っても、初乗り料金分の 710 円ならば市の負担は 71,000 円のため、市の負担も軽減されると思う。</p>
受託事業者	<p>費用的な面だけを言えば、市の負担が少なくなるかもしれないが、他都市のデマンドでタクシー車両を使って運行しているところでは、乗合運行で狭い空間に知らない利用者と一緒にいるのは苦痛だという声も聞く。</p>
委員	<p>乗合でなければ良いのではないか。タクシーならば、一人で利用できるのではないか。本庄南地域だとおそらく全域 1,000 円くらいで利用できると思う。</p>
受託事業者	<p>デマンドについては、市民だけでなく、市外からの利用者にもある程度利用していただきたいと考えている。</p>
委員	<p>デマンドには登録が必要であるので、市外からの来街者がデマンドを利用するのは難しいのではないか。</p>
受託事業者	<p>デマンドには色々なやり方があり、やり方によっては市外の利用者にも対応が可能である。使ってもらうには、PR が必要だと思う。</p>
委員	<p>福祉タクシー券の拡大・拡充を考えた方が経費削減につながると思う。福祉タクシー券は障害者手帳の提示という制限があり、障害者手帳を持っていない人、手帳を取りたくない人、あるいは手帳を持っていても障害が 1 級、2 級以外の方は福祉タクシー券が支給されないという制約がある。その要件をどの程度拡大して、実際の需要に結びつけていくのか検討してもらいたい。手帳等の制約がなければ、交通弱者と呼ばれる人も利用できると思う。</p>
委員	<p>デマンドは、決まった場所で乗り降りするものであって、電話したら自宅に来てくれるものではないということか。</p>
受託事業者	<p>デマンドには、色々なやり方があり、自宅まで迎えに行くやり方もあるし、バス停のような乗降ポイントを設けるやり方もあるが、タクシーと違</p>

	<p>い、乗合で運行する。</p> <p>現在、想定しているデマンドは、循環バスのバス停よりも多くの乗降ポイントを点在させ、乗降ポイントから乗降ポイントまでを移動するというもので、今の市内循環バスよりも身近なところで乗り降りすることが可能になって、今よりは便利になると考えられる。</p>
委員	<p>ある自治体では、シルバー人材センターを使って運行していると聞いている。</p>
委員	<p>先ほどの話で、デマンドは登録した人が利用できると思ったが、登録しないと利用できないのか。</p>
受託事業者	<p>デマンドにはいくつかの方法があり、個人の登録を行っているデマンドと、登録しないで運用しているデマンドがある。</p> <p>登録のメリットは、利用実績と利用特性がデータとして蓄積される点であり、それを運用方法に反映させることもできる。</p>
会長	<p>本日は、あくまで案という形で出させていただいているので、それにかかる費用や福祉タクシー券の活用などについて、事務局で検討して行きたい。</p>
浅野顧問	<p>活発に意見が出ているのは、今日の資料が少し先走っているかと思いつつも、どうしたら良いかと考えられたからこそだと思う。</p> <p>デマンドにはバリエーションが色々あり、家まで迎えに来たり、家から少し道に出れば乗降ポイントがあるというレベルから、行き先をかなり限定しているもの、スーパーや郵便局などを乗降ポイントにしているものもある。</p> <p>今日、出された意見をもとにデマンドのシステムや、本庄市としてどういうデマンドを運行するのか、次回くらいに明確に出していただくと、また議論につながると思う。</p> <p>15 ページが今日の基本のコンセプトになっている。市域を4地区に分け、それぞれの地区を1台の車両で運行するのは、なかなか難しいかもしれない。この区域の区切り方にはバリエーションがあり、たとえば、本庄北地域と南地域とを一体として2台で運行することも考える必要があるだろう。社会実験の中で検討すべきかもしれないが、何が何でも1地区1台運用とせず、できるだけ柔軟にしておくのが良いと思う。</p>

	<p>もうひとつは、総合交通として公共交通を考えるのだから、シャトルバスの提案はとても大事なものだと思うが、例えば、児玉折返し場～本庄駅線、本庄駅南口～寄居車庫線を本庄早稲田駅経由にしてシャトルバスも兼ねるといことも考えられる。その場合は、現状の路線を補完するようにデマンドを運行させる必要がある。まだまだバリエーションが考えられるので、次回に向けて検討して欲しい。</p> <p>地域別に車を持たない高齢者の人数等から、デマンドを使う人の層が本庄市内あるいは地域別に何人程度いるのか検討してみると、適した車両のサイズも見えてくるかもしれない。</p>
<p>会長</p>	<p>以上で本日は終了させていただく。今回いただいた意見を踏まえ、次回の協議会でさらに協議を進めたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>4. その他</p> <p>デマンド交通について、資料だけでは分かりにくいと思うため、11月21日の午後に「電話でバス」という名前でデマンド運行をしている群馬県みどり市への視察を予定している。急なお知らせで申し訳ないが、都合が付くようであれば参加いただきたい。</p> <p>次回第5回協議会は、1月10日(木)午後2時より本庄市役所2階の会場で開催を予定している。</p>